授業科目名・形態	精神看護学概論　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	畠山　禮子	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	N6-1010npmht				

【授業の主題】

こころの健康問題は深刻であり、精神保健に関連する課題がますます増加している。本講義では、こころの健康と精神看護の役割，人権と倫理について学ぶ。また、人間のライフサイクルにおけるこころの発達と精神保健について学ぶ。

【到達目標】

1. こころの健康と精神看護の役割について理解する。
2. 人間のライフサイクルにおけるこころの健康問題について理解する。

【授業計画・内容】

第1回　こころの健康について（ペアワーク）
第2回　精神看護の目標と役割，地域包括ケア（ペアワーク）
第3回　精神医療の歴史的変遷，精神看護における人権と倫理（リフレクション）
第4回　精神保健医療福祉と制度
第5回　精神医療福祉の現状と課題（リフレクション）
第6回　こころの発達と精神保健①
第7回　こころの発達と精神保健②、事例から学ぶリエゾン精神看護
第8回　まとめ

【授業実施方法】基本的には講義形式だが、第1・2回目はペアワーク、第3・5回目にはリフレクションを行う。

【事前・事後学習】

課題学習、リフレクションペーパー、ワークシート、試験対策等を含めトータル60時間程度の自主学習を行う。

【主な関連する科目】

病態治療学Ⅲ（精神疾患）

【教科書等】

萱間真美、　稲垣中　「精神看護学Ⅰ　こころの健康と地域包括ケア　現代に生きる人々のこころの健康を支える」
改訂第3版　南江堂　2022.

【参考文献】

適宜紹介

【成績評価方法】

授業参加態度（10%）、後期定期試験（90%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護職として患者や家族への対応等について経験。
実務経験から得た看護師としての技術や知識、チーム医療の重要性などについて授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

こころの健康問題等について関心をもち、一緒に学んでいきましょう。